

平成25年度第1回 横浜市立病院等安全管理者会議

日時:平成25年7月4日(木)
場所:横浜市技能文化会館

<はじめに>

昨年からグループワークを中心に行っているこの会議ですが、今年度の第1回も医療安全のためのワークショップ「今でしょ！医療安全 ～聞くだけでもためになる、話せばもっとためになる」を行いました。

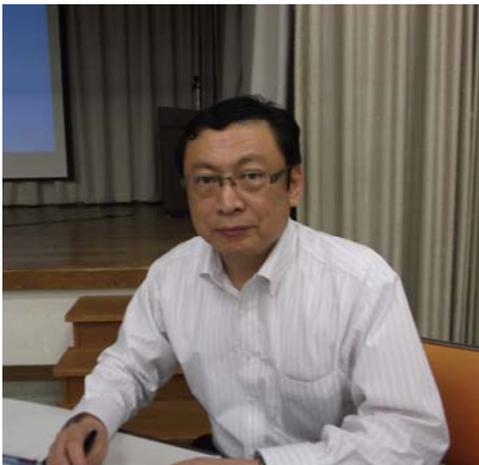
当日は38病院、87名の方に参加していただきました。



参加者
87名

参加病院
38病院

<寺崎 仁(てらさき ひとし)先生のご紹介>



1982年 日本大学医学部卒業
1986年 日本大学医学部
病院医療管理学教室助手
1992年 日本大学医学部
医療管理学教室専任講師
2008年 横浜市立大学附属
市民総合医療センター
安全管理指導者 准教授

アイスブレイク

スムーズにグループワークを行うためのアイスブレイクとして、まずは隣の人と自己紹介を、次にグループメンバーに向かって、先ほど自己紹介をしあった隣の人を「他者紹介」する、ということが行われました。他者紹介をするためにはしっかり相手を知らなければならず、短時間ながら熱心に取り組んでいただき盛り上がるとともに、お互いの気持ちがほぐれました。



グループワーク

今回のメインであるグループワークについても、寺崎先生に進行をお願いいたしました。

あらかじめ申し込んでいただいたテーマ(患者誤認防止、転倒・転落対策、医薬品の安全使用、相談・苦情・クレーム対応、医療機器の安全使用、チューブ管理)をもとに、12のグループができました。各グループにはメンバー病院等から1~2名がファシリテータが加わり、テーマに沿った活発な議論が行われました。



前半のグループワークでは、それぞれのテーマについての、各病院の困りごと、悩みを共有しました。後半のグループワークでは提示された問題に対する改善策や改善のための活動計画を考えていただきました。

最後に各グループで話し合った内容を発表していただきました。

各グループの課題や改善策は、引き続き検討を行っていきます。



異なる規模の病院や職種の方々が話し合う事で、「そんな考え方もあるんだ、ということを知ったのが新鮮だった」との声もありました。グループワークは前半、後半それぞれ40分ずつでしたが、アンケートでは「時間が短かった」とお答えいただいた方が2割程度もあり、議論が白熱した結果と思われました。

また、今回は前年度の要望をもとに、9月に中間ワークを設けており、活動計画の進捗状況等を話し合ってください予定です。その上で、第2回会議(平成26年1月～2月開催を予定)でグループ毎の成果を発表していただけたらと思います。

今回の話し合いが各病院の医療安全の取組の参考となれば幸いです。

最後は、寺崎先生の音頭のもと、みんなで元気良く「無事故で行こう、ヨシ！」と3回指さし唱和を繰り返し、拍手のもと会議は終了いたしました。

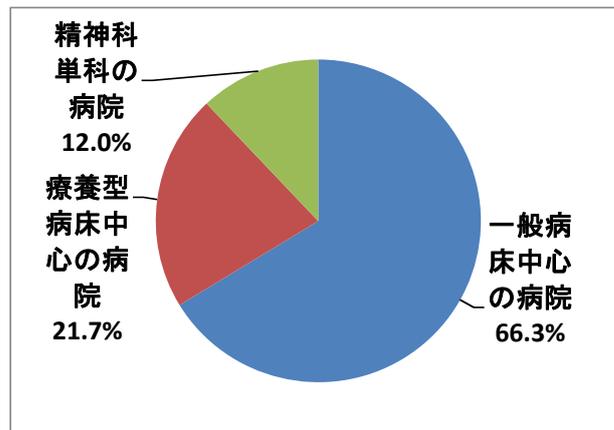
(医療安全課:東 記)

○アンケート結果(参考)

参加者87名中、83名からアンケートを回収しました。(回収率95.4%)
ご協力ありがとうございました。主な結果を下記にお示します。

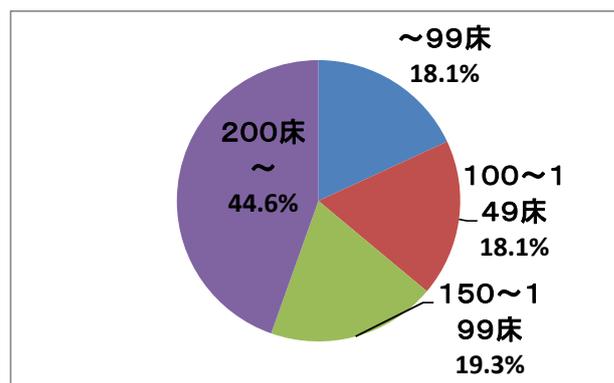
○所属施設

一般病床中心の病院	66.3%
療養型病床中心の病院	21.7%
精神科単科の病院	12.0%



○病床規模

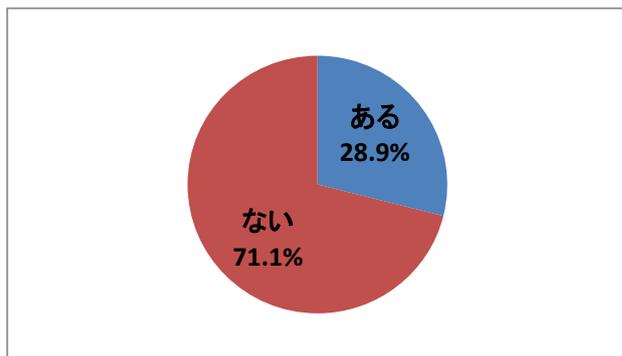
~99床	18.1%
100~149床	18.1%
150~199床	19.3%
200床~	44.6%



○職種			
看護師	62.7%	事務職	6.0%
診療放射線技師	4.8%	薬剤師	9.6%
臨床検査技師	2.4%	その他	10.8%
臨床工学技士	3.6%		

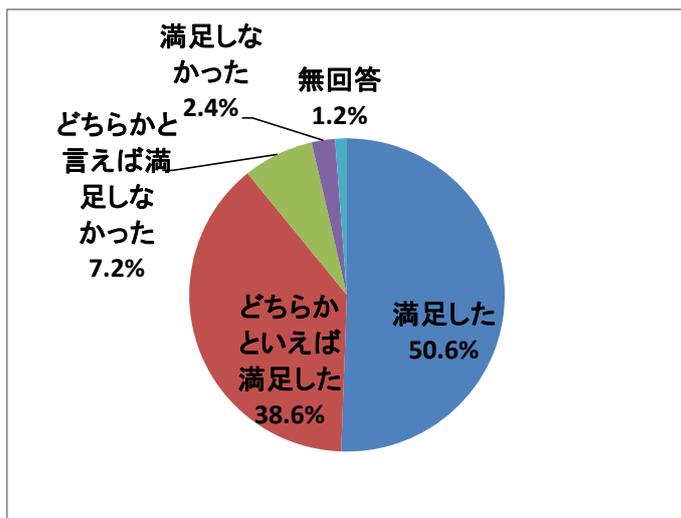
○以前にも横浜市立病院等安全管理者会議に参加したことがありますか。

ある	28.9%
ない	71.1%



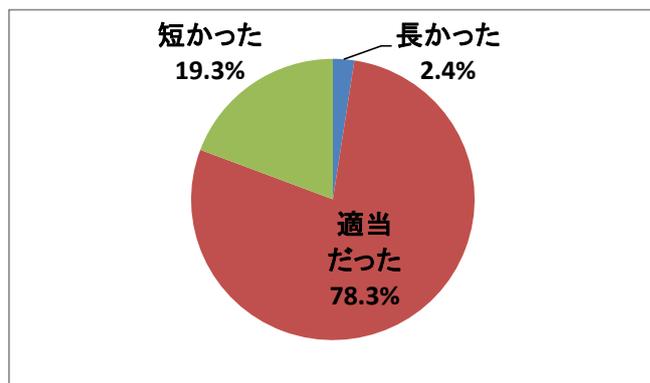
○グループワークの内容について

満足した	50.6%
どちらかといえば満足した	38.6%
どちらかと言えは満足しなかった	7.2%
満足しなかった	2.4%
無回答	1.2%



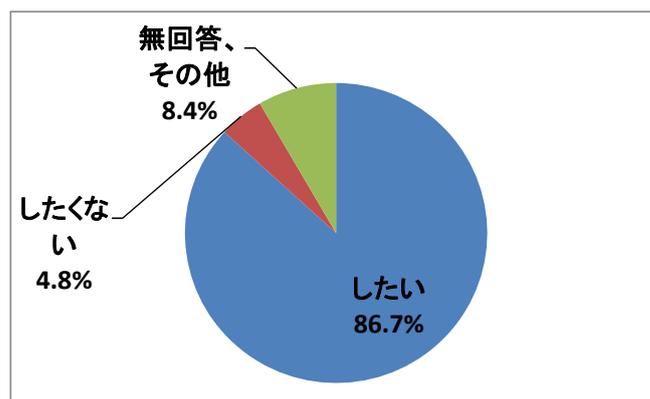
○グループワークの長さについて

長かった	2.4%
適当だった	78.3%
短かった	19.3%



○今後も会議に参加したいですか？

したい	86.7%
したくない	4.8%
無回答、その他	8.4%



作成:横浜市健康福祉局 医療安全課